

[ポリエ]…石灰岩地域で溶食作用によってできた広い凹地、平野のことである。  
秋吉台エコ・ミュージアムは佐山ポリエと呼ばれる谷あいには立っています。

〒754-0302 山口県美祢市美東町赤  
TEL・FAX:08396-2-2622  
E-mail : akiosiecomuseum@yahoo.co.jp  
HP : <http://www.c-able.ne.jp/~mitou-14/>

## ススキの名所 「秋吉台」 秋の日暮れはススキが主役

どこにでもはびこるススキは、雑草の中でも厄介者ですが、この時期の秋吉台では主役になっています。ススキの穂が太陽の光を浴びて輝いて見えます。特に夕方は、銀色に見えたり、金色にも見えたりしてとてもきれいです。その光景をカメラに収めようと、多くの人たちが訪れています。風景や秋の草花を散策しながら、この時期ならではのススキを見て楽しんではいかがでしょうか。

【秋吉台は、ススキの名所ランキングで第7位に選ばれました。（日本経済新聞2018.10.13）】



## 季節の草花 「アキノキリンソウ」の花盛り

秋吉台上では、アキノキリンソウが見頃です。今年は「こんなにもあるのか」と思うほどです。そんな中で、少し草丈の高い場所でスクッと立ち上がって咲いているのがヒメヒゴタイです。つぼみの頃は淡いピンク色ですが、開花すると濃い紫紅色になって遠くからでもよく見えます。センブリは低い草の中で、隠れるように咲いていますが、よく目立ちます。全草に苦味があり、昔から胃薬として利用されてきました。今年は猛暑だったせいか、数多く自生していた場所でも株数が激減しています。





## 観察会「秋吉台の化石」

## まぼろしの「三葉虫の化石」発見

観察会「秋吉台の化石」を10月21日、秋吉台科学博物館とその周辺で行いました。化石について学んだ後、秋吉台に出て化石を観察しました。天気は良好、飛行機雲があるだけです。若竹山をまわってカルスト展望台に到着しました。子供たちは興味深々で質問がいっぱいです。観察の後は化石採集を行いました。フズリナや腕足類はたくさんありますが、貴重な化石です。アンモナイトが幾つか見つかりました。小さいけれど非常に珍しい三葉虫の化石は大発見でした。



## 秋吉台草原ふれあいプロジェクト「草原復元作業」に参加

10月7日、秋吉台草原ふれあいプロジェクトが主催する「草原復元作業」に参加しました。これは秋吉台の草原（土壌）を本来の姿に復元するために行っており、今年で11年目になります。以前は栗畑であった場所の草を刈り、その半分のエリアは草を持ち出して畑に運び利用し、残りのエリアは草を刈り倒したままにしておきます。前者は、だんだんと草丈の低い草原となりますが、後者はセイタカアワダチソウが増えます。現在これらを比較し調査を継続しているところです。



## セイタカアワダチソウ いつかは黄色い秋吉台

この秋、殊に目立つのがセイタカアワダチソウです。数十年ほど前には、花粉が喘息の原因になるとのことで、刈り取りではなく引き抜かれて処分されたことがあります。後年になって「根拠はない」ということで、現在に至っています。多年草で地下茎によって繁殖しますが、それ以上にタネで増えます。山の向こうだから大丈夫などと安心できません。タネは風によって山を越えます。着地すると芝生の中でも発芽して増えます。鉢植えで育てたことがありますが、ここではうまく育ちませんでした。灌水や施肥でチャホヤされるのは苦手なのでしょうか。



# 11月の行事

## 11月11日(土) 「洞くつ清掃活動」

景清洞の北側にある三角田洞に入って、川から流れ込んだゴミなどを回収します。